

元戦車中隊長の模型部屋

第19回

皆さんこんにちは。長い猛暑の夏が過ぎたら世の中はハロウィンの様相となり、秋だなあと感じてしまうようになりました。今年もあとわずか。たまっている罪（積）プラを片付けるぞ！

先日、自衛隊特集のテレビ放映で、カズレーザーさんが高等工科学校の生徒たちを前に「皆さんが汗を一滴流すと誰かが流す涙が一滴減る」という言葉を述べて話題になりました。新潟では放映されなかったのでネット動画でしか観ることが出来ませんでした。我々自衛官にとってはうれしい言葉です。私も「塗料をプラモに一滴塗ったら自衛隊志願者が1名増える」なんてことになったら嬉しいです。さて、今回は・・・



キットはアオシマの1/72スケールのものです。このシリーズ、1/35ではキット化されない珍しい大型車両やトレーラーなんかを発売してくれて、自衛隊ファンにはたまらないものとなっています。今回私も初めて製作しましたが、1/35だったら机の上が大変なことになるので、このスケールでよかったなと思いました。

O3式中距離地対空誘導弾は、中距離防空用対空ミサイルシステムで、空自の長距離対空装備であるペトリオット、陸自の81式短距離地対空誘導弾の間を埋める対空装備です。数年前に総火演で見たときに「でっけえ！かっけえ！」とマニア心をくすぐられてしまいました。



滅多に作らない1/72スケールでしたが、パーツの合わせ具合もよく、素組だけで満足いくクオリティの装備品が入手できます。発射機は可動するのですが、組み立て途中で遊んでいたら基部の部品が折れてしまい泣く泣く発射状態で固定することとなりました。

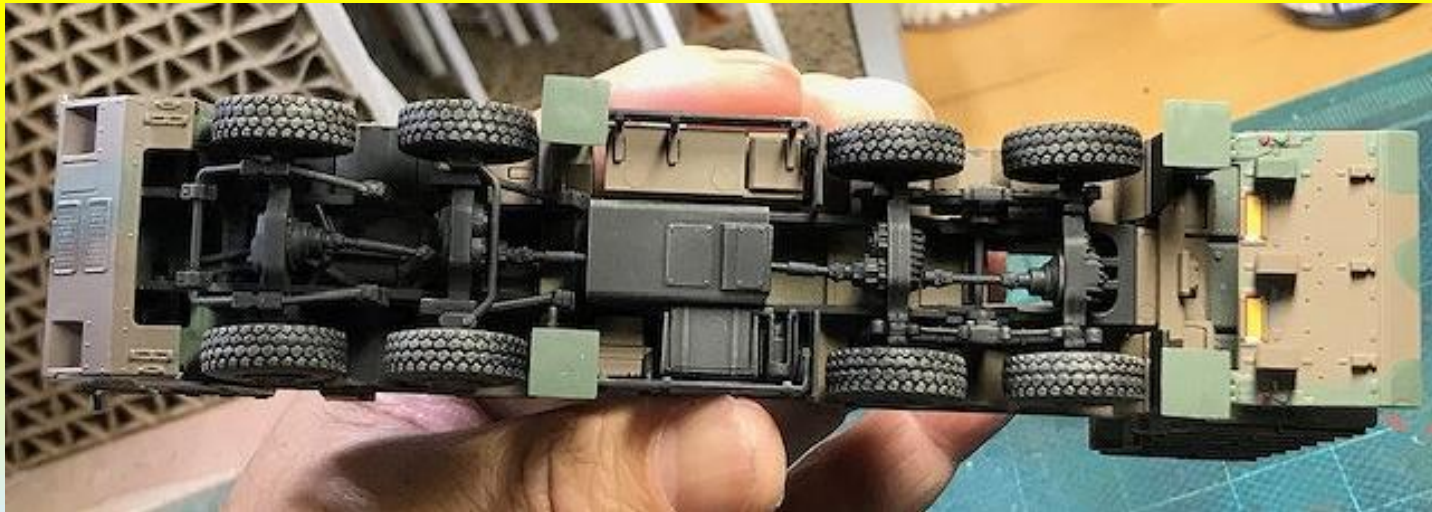


発射機が上空を睨む・・・しびれるじゃないですか。男の子なら誰もが心躍らせる光景です（私感）



塗装はタミヤラッカー塗料を使用しました。組立説明書で指示された角形コンテナの青いラインは、訓練用の発射機と思われます。違ったらごめんなさい。操縦手席のキャビン内は細かく塗り分けたのですが、完成するとこの様にほとんど見えません・・・(´;ω;`)

マーキングの第344高射中隊は奄美駐屯地の部隊です。西部方面隊には、どんどんと新しい装備品が配備されています。興味がある方は、陸上自衛官受験の際に西部方面隊勤務を希望してみると行けるかも。



車体下部もこのように精密に再現されています。組み立てるときは車体上部とシャーシとキャビン（操縦手席）を分けて塗る必要があります。これが少々めんどくさい。



左から今回のキット、フジミ模型の1/72スケールの10式戦車試作型、タミヤ模型1/35の10式戦車を並べてみました。10式戦車でこの大きさの差ですから、先述した様に1/35で03式がキット化されたら机の上が大変なことになります（笑）1/72シリーズの自衛隊装備品も数多く発売されています。手ごろな大きさですのでおすすめです。では、今回はここまで。またお付き合いください。